

水辺活動

| | | | | |
|-------------------|--|-----------|-----------|-------------|
| プログラム名 | 湖岸清掃 ※団体主導 | | | |
| 概要 | 浜名湖に漂着したごみや流木を清掃することで、自然を大切にする心を育む。 | | | |
| ねらい | 浜名湖をきれいにすることを通して、奉仕の精神や、モノを大切にする心を養い、浜名湖に対する関心をもつことができる。湖岸の漂流物などから、環境問題について考えるきっかけができる。 | | | |
| 条件 | 対象 | 全年齢 | 人数（指導者人数） | ～200人（3人以上） |
| | 活動目安時間 | 60分程度 | 活動時期 | 4～10月 |
| | 活動場所 | 湖岸、マリーナ広場 | 費用 | 不要 |
| | 下見 | 要 | 活動名簿提出 | 不要 |
| 持ち物・準備 | （個人）軍手、帽子、飲料、濡れてもよい靴（サンダル・クロックスタイプは不可） （貸出）ごみ袋※ごみは青年の家で回収 | | | |
| 安全上の留意点 （対策方法） | 熱中症・脱水症状（適度な水分補給と休憩、帽子の着用の徹底） 転倒、石場でのケガ（注意喚起、軍手、古靴着用の徹底） 自然災害（気象状況の把握、落雷等の恐れがあるときは速やかに艇庫へ避難） 有毒生物、カニ、貝殻や漂流物によるケガ（事前の注意喚起、危険な生物を見つけたら指導者に報告） | | | |

活動内容（手順）

事前①指導者配置の決定：研修生への説明、巡視指導、研修生の補助、本部

②グループ編成：実施に適したグループ編成をする

③実施方法の決定：活動内容や時間・休憩時間の設定

④研修生への事前指導：活動の「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等を指導、服装や持ち物

活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と団体責任者・担当指導者にて実施

実施判断：気象を基に、協議の上決定

確認事項：人数、グループ数、健康状態、活動範囲、活動時間、貸出備品

活動①指導：指導者より

活動範囲等の説明

②活動開始：ごみ袋を持って清掃場所に移動（指導者は活動を行わず、研修生の活動状況を把握）

③片付け：ごみ袋を回収し、9番艇庫前に置く（活動終了後所員が回収）

④確認事項：人数、健康状態

⑤振り返り：活動の感想を発表

⑥報告：所員へ終了、研修生の健康状態を報告



<その他>

※ごみは、《可燃ごみ》《不燃ごみ》《ペットボトル、缶》に分別して回収

※ごみ袋に入るもののみ回収する（流木や貝等自然のものは回収しない）

※大きなものはごみ袋に入れず、別にして回収する



赤クラゲ



オコゼ



アカエイ

★毒のある生き物として、主に、赤クラゲ、オコゼ、アカエイが挙げられる。（右図参照）

◆赤クラゲに刺されたら…海水で患部を洗う→ゴム手袋をしてピンセットで触手を取る→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆オコゼに刺されたら…流水で患部を洗浄する→棘を抜く→毒を吸い出す→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ

◆アカエイに刺されたら…海水で患部を洗う→毒針を抜く→熱いお湯（45℃以下）に30分以上浸ける→医療機関へ